

## 市議会産業交通水道委員会における主な質疑

第1回検討委員会の開催について、平成29年8月10日に開催された市議会の産業交通水道委員会に報告した際に、以下のような質疑がありました（交通局による要旨抜粋）。

### 【委員の構成について】

○検討委員会には、消費者の視点が欠けているのではないか。中小企業経営者や学生の意見が反映される構成になっているか。

→御利用者や市民団体の方のほか、学生の方や企業経営者の方にも御参画いただいている。

### 【委員会の運営について】

○議論に当たり、交通局の基本的な使命として、安全第一であること、中長期的に市民の足を確保することなどを示すべき。

→しっかりと委員の皆様の説明してまいりたい。

○議論が散漫にならないように、何が課題かということを知りやすく示し、委員会が達成すべき目的や議論の中心が委員に伝わるよう工夫する必要がある。

→限られた開催回数の中で、委員に的確に内容等が伝わるよう工夫したい。

○文化という視点、若者の視点、女性の視点が委員会の議論に生かされ、次期ビジョンに反映されるよう運営していただきたい。

→幅広い視点から自由に活発な意見を頂戴し、答申を頂く。それぞれの立場からの意見が十分に反映されるよう、会議の運営等工夫してまいりたい。

○交通局内でのブレインストーミングの場へ委員に出席いただき、ざっくばらんに意見交換するほうが委員の英知を生かせると思う。平場で意見交換できる機会を設け、意見をしっかりと聞いて、それを経営ビジョンに反映すべき。

→平場での意見交換が可能かどうかかわからないが、形式的議論に終わらないよう、実のある意見交換ができるように努めたい。

### 【ビジョンの方向性について】

○今回の委員会では、経営健全化団体からの脱却が主眼であった経営健全化計画策定時の委員構成には無かった新たな分野の委員が参画されている。どのような方向性でビジョンを策定していくのか。

→引き続き厳しい経営状況が続くことから、健全経営の確保が第一であるが、様々な今日的課題や安全対策、利便性向上といった点についても幅広い視点で議論いただき、ビジョンに盛り込んでいきたい。